

発行所 〒102-0083
 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内
 日本海洋少年団連盟
 電話 03(5213)4778
 (年6回奇数月の1日)
 5月、7月合併号
 購読料 1部10円(送料実費)
 会員会費には購読料が含まれる
 振替東京 5-13846番



ちかひ

1. 海のような広い心で団結し、すべての人を友とします。
2. からだをきたえ、心を養い、立派な海の子になります。

平成28年度 定時総会、団長会議等を開催 — 会長交代 —

日本連盟は、6月9日(木)、東京晴海の「ホテルマリナーズコート東京」において、午後1時から午後5時20分までの間、資格審査会、団長会議、平成28年度定時総会及び臨時理事会を開催した。



- 第一号議案** 海洋少年団の強化・活性化について
- 第二号議案** 第53回全国大会の実施について
- 第三号議案** 平成28年度事業計画について
- 第四号議案** 海洋少年団の制服等について
- 第五号議案** 各団提出議題について

資格審査会は、資格審査委員5名により、指導者として認定申請のあった古賀団の泉哲昇さんについて審査した結果、全員一致で認定された。

団長会議は、資格審査会に引続いて2階会議室「春日」において午後1時50分から開催され、次の5議案について説明及び質疑を行った。

議案のうち、第一号議案については、今年度、日本連盟が実施する新団設立助成、地区連盟活動助成、地区大会助成等の事業の説明、「東京オリンピック・パラリンピックまでに「万人」をキャッチアップ」に、各地区において強化・活性化プロジェクトチームを順次設置していくこと等を説明。

第二号議案については、福岡市で行われる

会長就任ごあいさつ



草刈前会長のあとを受けて6月9日付けで第十代会長に就任しました前川弘幸でございます。

平成24年から4年間に亘り本連盟の発展に尽力された草刈前会長には厚く御礼を申し上げます。

草刈前会長が進められてきました「東京オリンピック・パラリンピックまでに海洋少年団の会員1万人を目指す」とのスローガンのもと、海洋少年団の新団設立、既成団の強化、財政基盤の拡充等

決議行使書49名)が出席し、5月12日の第1回理事会で承認された次の5議案について審議が行われ、全て原案どおりに承認された。

第一号議案 平成27年度決算について

第二号議案 平成28年度予算について

第三号議案 役員選任について

第四号議案 日本海洋少年団第53回全国大会の開催について

第五号議案 その他

議案のうち、第三号議案「役員選任について」は、草刈隆郎会長と井上孝昭理事が辞任し、前川弘幸氏と小林正則氏が新しい理事として選任された。

また、報告事項として、「平成27年度事業報告」、「平成28年度事業計画」、「顧問の選任について」、「会員の入会及び退会について」、「重要な使用人の退任及び選任等について」等についての説明が行われた。

臨時理事会は、2階会議室「豊明」において午後5時5分から開催され、理事19名のうち理事14名及び監事1名が出席し、前川弘幸氏が代表理事及び会長に選定された。また、草刈隆郎氏が顧問(特任顧問「強化活性化担当」)に就任した。

以上全ての日程を終了し、午後5時30分から4階「白鳳」において、海事振興連盟から高木義明副会長・事務総長、塩谷立常任理事、大西英男衆議院議員、国土交通省坂下海事局長、文部科学省生涯学習政策局長代理泉課長、海上保安庁佐藤長官、宮内庁西ヶ廣宮務主管(公財)海上保安協会石橋理事長など多数の関係団体役員等が来賓を迎えて懇親会を開催し、活発な意見交換や親睦を深め、午後7時に散会した。

翌10日(金)には、千代田区平河町の海運ビルにて、午前10時から午後2時半まで地区連盟事務局長会議を開催した。

の活動については、関係者の皆様からご支援をいただきながら、引き続き努力してまいります。

海を活動の場として、子どもたちの時から親しむ、団体生活を通して社会生活に必要な道徳心を養い、心身ともに健康でたくましい人間育成をめざす海洋少年団は、海洋立国日本の基盤を支える大きな役割を果たさせていたに違いないことを誇りにして、皆様とともに当連盟の更なる発展に努力する所存です。よろしくお願いいたします。

前川氏略歴
 氏名 前川弘幸
 学歴 昭和46年3月 京都大学法学部卒
 職歴 昭和46年4月 顧問(非常勤)

川崎汽船株式会社入社
 平成17年4月 代表取締役社長
 平成18年4月 代表取締役社長執行役員
 平成22年4月 代表取締役 会長執行役員
 平成23年4月 代表取締役 会長執行役員
 平成25年6月 取締役会長
 平成27年4月 特別顧問
 顧問(非常勤)

「第9回美ら海体験教室」参加者募集

平成28年度「第9回美ら海体験教室」を7月31日と8月6日の2日間開催します。2日目の8月6日は、沖縄県外の海洋少年団員の参加者を募集します。

日時	平成28年8月6日(土)13:00~16:30
場所	ホテル日航アリビラ及び有限会社海の種
行事内容	1300~1400環境教室 1420~1630サンゴの移植等
募集期間	平成28年7月9日(土)まで
募集対象及び人数	沖縄県外の海洋少年団員小学4年生~中学3年生10名 ※応募多数の場合は抽選となります。
募集条件	13:00までに読谷村ホテル日航アリビラ会議室に集合できること
費用等	参加費は無料。交通費の一部を助成。その他宿泊費等は自己負担。 ※ 応募者多数の場合は抽選にて決定。
服装	濡れても良い服装、帽子は必ず着用。タオル、靴はスニーカー、水筒、筆記用具。(紫外線対策、傷害等防止のため、露出が少ない服装)

※ 参加申込は、日本海洋少年団連盟までお願いします。(TEL 03-5213-4778)

平成28年度 国際交流(派遣事業)参加団員決定

日本連盟は、ISC(国際海洋少年団協会)加盟各国から国際交流の招請状を受け、今年度カナダ、韓国、香港へ別表の通り参加団員を派遣することが決定した。

カナダは、ブリティッシュコロンビア州HMS QUADRA海洋少年団夏季トレーニングセンターで朝の分隊朝礼、シーマンシップ、海洋訓練、空軍博物館訪問、または国旗掲揚式典出席するための特別プログラムに参加、韓国は1992年より毎年開催されている国際青年シーフェスティバル(韓国レガッタ大会)に参加、香港は、沿岸防衛博物館、海上警察本部等訪問、水上スポーツ、文化交流(派遣各国出し物)、香港青年次キャンプに参加します。

派遣される指導者、団員は相互交流を図るとともに、国際親善を深めることを期待します。

平成28年度国際交流(派遣事業)参加者一覧

派遣国	団名	氏名	役職・学年	性別
カナダ	南勢	橋川 玄	団長	男
	中日	木村 優花	高校1年	女
	南勢	徳田奈々子	高校2年	女
	南勢	田畑みのり	高校2年	女
韓国	鹿兒島	武田 英孝	高校2年	男
	日本連盟	中島 幹夫	総務部長	男
香港	南勢	東 美月	高校2年	女
	沼津	鈴木 正之	指導者	男
	鹿兒島	東郷 優海	高校3年	女
	岩国	甲方 尚照	中学1年	男

平成28年度 地区大会開催日程

地区連盟	日程	開催場所	特色	地区連盟	日程	開催場所	特色
北海道	8/6~8	石狩市		近畿	8/5~7	赤穂市	
東北	未定	未定		中国	8/19~21	江田島市	海上保安大学校・海上自衛隊 第一術科学校見学
日本海中部	開催なし			四国	開催なし		
関東	7/30~31	船橋市	旧南極観測船「しらせ」を利用	九州北部	7/30~8/1	沖縄県 宜野湾市	宜野湾はごろも団と交流
東京	7/29~31	八王子市 高尾市		南九州	熊本地震のため中止		
中部	7/30~31	敦賀市		沖縄	開催なし		

今月の主な記事

2面 緑綬褒章受章、制服の新販売価格について、活性化(第7報)他
 3面 みどりの広場、4コマまんが
 4面 ITCの活用、各地活動報告(清水、神戸、大阪みなと)他

平成28年度 春の褒章で海洋少年団が緑綬褒章を受章

小樽団、三国団、松山団、伊万里団

平成28年度春の褒章(4月29日付)において小樽団、三国団、松山団、伊万里団の4団が「緑綬褒章」を受章した。

緑綬褒章は、「長年にわたり社会に奉仕する活動(ボランティア活動)に従事し、顕著な実績を挙げた方」に授与される褒章で、今回は全国の受賞者50名・9団体(うち緑綬褒章3名9団体)のなか環境美化奉仕団体として4つの海洋少年団が受賞した。

〔三国団〕

このたび、平成28年春の褒章に際し緑綬褒章(環境美化奉仕団体)を受章いたしました。去る5月17日に褒章伝達式が国土交通省において行われ、一色松山団団長、奥野小樽団団長、中野三国団副団長が出席しました。

〔小樽団〕

このたび、栄誉ある緑綬褒章を受賞いたしました。北海道地区連盟で一

に山本国土交通副大臣より褒章が授与されました。これからも引き続き海岸の清掃をはじめ、環境保全活動に努めてまいりたいと思います。

〔松山団〕

5月17日、松山団は、平成28年春の褒章において「緑綬褒章」を受章いたしました。

〔伊万里団〕

伊万里団は、カブトガニの産卵地である、伊万里市の多々良海岸を毎年1回28年間清掃活動を行ってまいりました。



小樽団 小樽海上保安部長へ報告



三国団



松山団 松山市長へ表敬訪問



伊万里団 伊万里保安署長から伝達

制服の新販売価格について

制服の販売について、平成27年10月に各団に通知していましたが、仕入れ業者の変更に伴い、現在は、黒沢商会の在庫がなく、次策、山甚物産へ移行しているところとあります。

交渉の結果、長袖の制服は、一律4,800円を3,950円、490円、半袖の制服は、一律4,380円を3,450円(別表)となりました。

平成28年度在庫状況及び販売価格表

山甚物産(株)平成28年4月1日より新価格を実施します。

品名	新販売価格(税込)	身長目安(サイズ)	品名	新販売価格(税込)
長袖 1	3,950	110	半袖 1	3,450
長袖 2		120	半袖 2	3,500
長袖 4	4,050	130	半袖 4	3,550
長袖 5	4,150	135	半袖 5	
長袖 6	4,200	140	半袖 6	3,660
長袖 7	4,350	150	半袖 7	3,720
長袖 8	4,450	160	半袖 8	
長袖 9	4,500	165	半袖 9	3,870
長袖 10	4,550	170	半袖 10	3,880
長袖 12	4,800	175	半袖 12	
長袖 14	4,960	180	半袖 14	3,990
長袖オーダー	6,800	実寸寸法	半袖オーダー	6,150

※オーダー注文は受注後、納期までに約2ヶ月かかります。

平成27年度 褒状山縣賞の授与式が行われました



謝辞 本日は、公益社団法人日本海洋少年団連盟の栄えある山縣賞をいただきましたことをまことに感謝申し上げます。

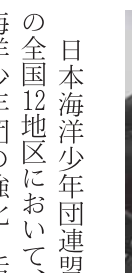
私には、佐世保海洋少年団員として、まだそのころは、入団資格が4年生以上でありましたが、その基準に到達できず、佐世保団独自の幼年隊という制度で入団しました。



本日は、この名誉ある山縣賞を受け、今まで続けてきてよかったと思う気持ち、これからは自分自身に活力がみなぎる思いです。今回一緒に受賞した八戸団、清水団、中日団、南勢団、福岡団の皆さんと共に深く感謝申し上げます。簡単ですが謝辞とさせていただきます。本日にあります。

既報(第610号)のとおり、平成28年3月11日から13日にかけて、平成27年度褒状山縣賞の授与及び海事関連研修等が行われた。

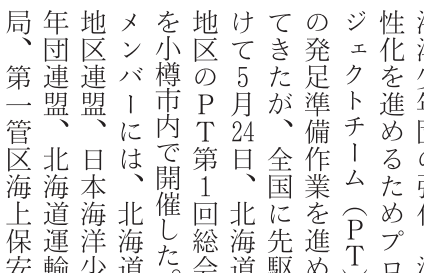
表彰式には受賞者14名のうち6名が参加し、表彰状が授与されたあと、受賞者を代表して佐世保団の南指導者から謝辞が述べられた。



その後行われた海事関係研修等には7名が参加した。

それから数えると述べ30年以上、自分の生活と共に海洋少年団はいつもそばにありました。みなさん、我が家には4人の女の子がおりますが、佐世保団に入団して2人が卒団、2人が在籍しており、私は母親として指導員として訓練を続けております。

日本海洋少年団連盟の全国12地区において、海洋少年団の強化・活性化を進めるためプロジェクトチーム(PT)の発足準備作業を進めてきたが、全国に先駆けて5月24日、北海道地区のPT第1回総会を小樽市内で開催した。



東・東京地区のPTも横浜市内で合同により開催した。今後、他の地区においても順次開催していく予定。

海洋少年団強化・活性化プロジェクトチームがスタート



本部、北海道海事広報協会、北海道旅客船協会、北海道内航海運組合、函館どつく、共栄運輸、小樽海上技術学校、他、オブザーバーとして北海道教育委員会と小樽海上保安部が参加。

みどりの広場



「一泊二日のヨット訓練」

福岡団 千徳 遙か

3月20日から21日に、一泊二日でヨット合宿がありました。一日目は、風が強くてこわかったのでアクタスに乗りました。二日目は、昨日より風が弱まっていたので藤田めいちゃんと一緒にぎそうをしました。ポールをセーラーに付けて

て、スピリットポールをつけてマストを立てるまでは、スムーズに行けたけどシートをつけたら少し手こずりました。そして、乗りました。グイを指して、走っていたけど、風上に向かうのがこわくて、グイをまわらずにタックしてしまいま

「第二回ヨット合宿に参加して」

福岡団 増田 圭佑

今回のヨット合宿では、伊万里団も合同で行った。今回は、風速10mと、非常に強かった。OPデインギーで、走ることもできなかった。また、自分で乗った、OPデインギーで、スロープに帰れたも、走ることがむずかかった。また、一日目は、伊万里団の人と

一緒に乗ることもできなかった。強い風だったが、伊万里団の人と一緒に行きました。二日目も風は強かった。二日目も風は強かった。二日目も風は強かった。二日目も風は強かった。

「海王丸を見学に行つて」

佐世保団 小柳津 花菜

私が海王丸見学をして心に残ったことは三つあります。一つ目は、訓練です。海王丸で学習する人たちをテレビで見たい。二つ目は、部屋の中です。部屋は8人くら

い用なのにすごくせまくてベッドや机などもすごく小さかったです。その中で生活するのは思いませんでした。三つ目は、船の先についていた金でできた像です。それは、けっくおおくてとてもきれいでした。船を守るものだと教えてもらいました。海王丸にはめったにのることができません。見学できてよかったです。

「海王丸を見学に行つて」

佐世保団 岩永 弘誠

土曜日、海王丸を見にいきました。いろいろとみせてもらいました。ほをひろげるのもよかったです。

ほをひろげましたが一番かっこよかったです。ごきげんよくといつてしゅっぱつするのよかったです。

「建国記念日市中パレードに参加して」

佐世保団 小柳津 瑛太

2月11日はパレードがありました。人がたくさんきていたのでびっくりしました。しまの

せこうえんから八まんじんじゃまでいきましかた。楽しかったです。

「今回のヨット合宿を終えて」

福岡団 辰本 桂

私は、今回のヨット合宿で、伊万里団と一緒に訓練をしました。伊万里団の人たちは、風が強くて少ししか乗れなかったけれど、ヨットの操作を教えることができましたのでよかったです。二日目は、スピードを出すことができました。

た。風上マークを一回回ったけれどタックで失敗したりして、なかなかマークを回ることができませんでした。マークを回るのが失敗したり、パウ沈したりして、難しかったです。でも、スピードが出てきたり、風上マークを回ったりできて楽しかったです。また、伊万里団とヨット合宿をすることができたら、ヨットをしつかり教えたいと思います。

「今回のヨット合宿で」

福岡団 鷹野慎之介

今回のヨット合宿では、風がとて強く、OPデインギーで海に出たときバランスがとれず、バウチンするところがありました。その時に自分はどうすればいいかというのを考え、バウチンはどうすればおこらないかというのを座学で時間考えました。その中でも一番考えたことは、いつもは船の中心に座ってそう船

するが今回は波がとても高く船の後ろに座ってそう船すればいいということが分かりました。また伊万里団との団員とヨットに乗るのが初めてでタックの仕方などをおしえることができましたのでよかったです。次この合宿で目標にするのは、バウチンをしないうことです。を目標にしていきたいです。

「海王丸を見学に行つて」

佐世保団 小川 昂成

ぼくたちは、1月30日に海王丸に乗りました。全長が110メートルで帆は4本ありました。マストは、フォアマスト、メインマスト、ミズンマスト、シガートマストがありました。帆の長さが4本とも45m以上あったので

びっくりしました。そして、実習生のかたがもしもおちてしまったらとそうぞうしてしまいい、こっせつするのかなと思いましたが、でも実習生が乗組員になる夢みてがんばっている人がすごいなと思いました。

「一泊二日のヨット合宿」

福岡団 辰本 薫子

3月20日から21日に、一泊二日でヨット合宿がありました。伊万里団と合同で泊まりました。一日目は、朝はともやる気があったけどからつに着くと、風がとて強くてOPに乗ることができませんでした。二日目は、朝、ヨットに乗ることにしたので、風が一日目より、約三メートル弱だったので、竹内運くんといっ

しよに、OPに乗りました。最初は、とてもこわかったけど、と中から、なれてジュンビュンOPが進みました。楽しかったです。この二日間、ヨット合宿に参加して本当に良かったです。夜もいろいろなことを学べました。だから、またヨット訓練、ヨット合宿があったら、絶対に参加したいです。そして、もっと上手にヨットに乗れるようになりたいです。

作文・活動報告記事募集!!

大会や行事に参加したこと、日頃の団の活動などを作文や団活動の報告記事として投稿してください。

〈応募方法〉
原稿用紙1〜2枚
(400字〜800字程度)
★みどりの広場に作文を掲載された方には、紙編集部宛てにメールアドレスを贈ります。

団活動報告 一つの記事につき 400〜600字程度。その関連の写真や画像など 1〜2枚。
〈応募先〉
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル(公社)日本海洋少年団連盟機関紙編集部宛て
メールアドレス jsf@green.ocn.ne.jp

うみた ひろみ VOL.134
海太と洋美 作・ちば へーた

海太、七つの海を知りたい
七つの海を知りたい

太平洋・大西洋
インド洋・北極海
南極海……あれれ……???

太平洋と大西洋を
南北に分けて
北太平洋・南太平洋
北大西洋・南大西洋
合わせて七つ

へえ、どうなんだ、
時代によつて七つの海は
変わってきたみたい



3月19日、21日、静岡県立三ヶ日青年の家において、9団(清水団・千葉新宿団・千葉北部団・市川しおさい団・船橋団・目白台団・南勢団・豊橋団・中日団)の総勢106名の指導者・団員が集まり、

清水団

☆合同カッター訓練 東京・中部地区からも参加☆

合同カッター訓練を行った。各団との交流を兼ねて混合編成し、年長団員と一緒に座り漕ぎ方を教えた。初めてカッターを行った団員からは「楽しかった」という声が聞かれた。他にも手旗訓練やクラフト、レクリエーションなどで交流を深め、有意義な合宿となった。(団長 平野昇)

5月15日、神戸市で第42回「神戸まつり」が開催され、海事関係団体(12団体)からなる「うみ・みなとの仲間たち」の一員として、神戸団もパレードに参加した。当日は天気にも恵ま

神戸団

☆「神戸まつり」パレードに参加☆



ICTの活用

日本海洋少年団連盟では、広報及び連盟内のコミュニケーションのためにICT(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)を積極的に活用することとして、Facebook及びYouTubeのアカウントを取得した。

Facebookでは、早速、緑綬褒章受章の4団のレポートを掲載し、連盟の活動を速やかに広報した。

また、YouTubeでは、競技委員会が検討中のロープワークのビデオをアップし、全国の少年団からアクセスできるようにしたことにより、多くの団員が検討に参加できるようになり、より良いロープワークのテキストができるものと期待される。

連盟ホームページ(トップページ)から見る事ができる。

勢21名が、天府連盟に所属する大阪みなと団、団長以下総務局長、河田誠)

大阪みなと団

☆帆船「みらいへ」体験訓練☆



今年度初参加の神戸団(約40名)は、活動を開始したばかりで慣れないこともあり、どうなることかと心配だったが、先輩団の大阪みなと団、姫路団のご指導をいただき、無事に終了する事が出来た。先輩の皆さんに感謝!

午前8時30分集合、人員点呼、指導者注意確認後、岸壁に移動し「帆船みらいへ」事業部理事、小原朋尚氏の挨拶後、さっそく乗船し船内見学、マストへの登り、帆を張る体験訓練等、初めての団員もいたが、貴重な体験をし、次回は是非航海中にといい声があり、全員満足で午前11時過ぎに無事に体験訓練を終了した。なお、今回は関係各位のご協力により実現した。(大阪府連盟 事務局 河田誠)



牛深団・鹿児島団

☆合同強化訓練☆

南九州地区連盟の牛深団は、団員の減少で存続の危機を迎えていたが、昨年、学童保育も持っている幸愛保育

園の小学1年生から3年生までの児童33名と園長を含めた先生方が丸ごと入団した。園長や先生の一部は、子供の頃に海洋少年団員の経験もあり、子供たちが海の綺麗な牛深で海に親しむ機会を与えたという思いで実現した。

小浜団

☆入団式・再活動へ出発☆

福井県内の海洋少年団は、昭和26年結成の敦賀団、昭和36年の小浜団、昭和38年の三国団と次々結成され、昭和45年5月に福井県連盟を結成し3団で事業や交流活動を展開してきたが、最近の少子化現象や他少年団体の影響を受け、各団団員減少気味で活動も制限されて小規模な活動となってきた。

毎月1回ずつ鹿児島団の団員たちが中心となって合同強化訓練を続けてきた。基本動作や手旗などを中心に訓練してきたが、強化訓練は3月30日、最後となった。今後の活躍に期待する。

7名の入団に成功した。5月14日、盛大に入団式が挙行政され、地元海上保安部長や小学校長が臨席し当県連盟からも北條会長(敦賀団長)が参列し新入団員に対し今後の活動の励ましとともに7月末敦賀市内で開催される第20回中部地区大会にも多数参加するように呼びかけた。

小浜団では今後、月2、3回のペースで公民館に集まり、手旗やロープなどの訓練に励み、今後さらなる団員増加に向けて努めていくことになった。この入団式の様子は、地元2紙の日報にも大きく取材され、またテレビでも報道された。福井県連盟としても



たまたまその日の活動で、先生(池原)がゴムボートから落水した事を想定して、同乗している小学生(1年生・2年生・3年生)で先生を救助する訓練をしていたところだった。その帰りに、本当に救助することになった。日ごろから、「決して安全でない場所で活動している」は、これも海洋少年団は「見る・聞く・訊く」を今年も強化テーマにしている。そうした君、良く実践できました。

宜野湾はごろも団

☆人命救助あっぱれ!☆

4月9日、宜野湾マリーナ管理事務所で、

今後は従来どおり県下3団体制で団員のさらなる増員に努め中部の各団に負けないように活動を活性化させるようにしたい。(福井県連盟事務局 橋詰 武)

【指導者資格認定者】平成28年3月15日と6月9日の資格審査委員会認定された方は次のとおりです。

【統括指導者】
〔藤沢団〕石井澄夫、小河愛由美
〔杉並団〕鶴岡全起子
〔南勢団〕中村行雄、川口啓太
〔三原団〕高橋雅子
〔浜田団〕岡本貴史

【指導者】
〔南勢団〕橋川啓、清水由佳里
〔小浜団〕本村和雄、山森友嗣
〔福岡団〕白水優輝
〔古賀団〕泉哲昇
〔長崎団〕横山孝美
〔牛深団〕矢橋清三、脇崎友美、米丸稔、宮脇慎一、石炭雄、浦川公佑、岩切優弥、浦崎亮太、矢橋法子、松尾洋子
〔熊本団〕堀文昭、中島憲一、岩尾伸一郎、緒方光博、一原雅木、川原康嗣



那覇保安部から感謝状が贈呈された。